

岩手のすべての人々の、健康でいきいきした暮らしを応援

岩手の「いきいき元気人」

◆バッタリー村(久慈市)

われら「三陸ソポーターズ」

◆傾聴ボランティアもりおか(盛岡市)

これが、元気な岩手をつくる活動だ!

◆“いきいき岩手”結婚サポートセンター

『i-サポ』

知って得する!財団情報

元気暮らしのためのQ&A

◆特殊詐欺などの被害に遭わないためには?

【さあ、支えあおう!】



Vol.12 2016



公益財団法人いきいき岩手支援財団

●さあ、かだろう!●

サークル活動で毎日元気「生きがいづくり」
岩手の
「いきいき元気人」

山村文化の体験。プロ グラムで交流を図り、 地域活性化にも貢献。

バッタリー村
(久慈市)



「消費者団体との交流時の、『ありのままの暮らしぶりを見せてもらおう』という父親の言葉に開村を決意しました」と話す村長の木藤古徳一郎さん。

集落の文化を見直して 30年前に「開村」

取材時は花巻市の『子ども自然クラブ』の子どもたちが、そり遊びや鶏の世話を楽しんでいました。

久慈市山形町荷輕部の木藤古集落にある「バッタリー村」は、山村ならではの生活文化を体験できる場です。首都圏の消費者団体との交流により自分たちの集落の文化を見直した住民が、「与えられた自然を活かし、この地に住むことの誇りを持ち、一人一芸何かを作り、都会の後を追い求めず、独自の生活文化を伝統の中から創造し、集落の協働と和の精神で、生き生きとした新しい生活文化を創造しよう。」といつ『バッタリー村憲章』を掲げ、昭和60年に「開村」したのです。以来、炭焼き、森の散策、木皮細工、草木染め、郷土食づくりなど集落に昔から伝わる技や文化を「体験プログラム」として用意し、県内外から多くの団体を受け入れて交流。その中には毎年ゼミ合宿や研修として訪れる学生たちもあり、そなたびに一帯も賑わいます。

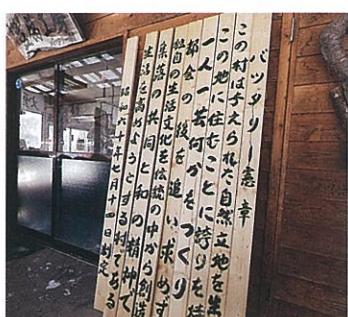
「開村当初、私自身は近郊の町から戻ってきたばかりで、炭焼きもモノづくりも

まったくできませんでした。当時元気だった両親や、自然に詳しい受け入れ団体の方などから教わって、知識や技を身につけたのです」と村長の木藤古徳一郎さんは振り返ります。
他の住民たちの中にも、バッタリー村での交流をきっかけに、技の伝承やモノづくりへの関心を高めたり、生きがいを見いだした人もいます。

冬ならではの体験を目的に 毎年訪れる子どもたちも

バッタリー村の冬は寒く雪が多いので、体験や交流にやってくる人は春から秋にかけてがほとんどなのですが、逆に、あって冬の生活文化や遊びを体験したいと毎年やってくるのが、花巻市の『子ども自然クラブ』です。これは『冬の冒険キャンプ』と名付けられて15年以上も続いているおり、取材時も小学3年生から6年生までの8人が、薪割り、鶏や山羊の世話を、コマ回し、そり遊びなどを体験していました。3泊4日の期間中は、自分たちで食事をつくったり電気を使わないで過ごしたりと、楽しみながら多くのことを学んでいるようです。

30年前の開村以降、敷地内には木藤古さんが手づくりした建物や遊具が少しずつ増え、多くの人たちの「体験の場」「教育の場」「癒やしの場」になりました。今後は、これまで交流した人たちから寄付された本を所蔵する『森の文庫』をつくる予定です。



「バッタリー」とは、同集落に昔から伝わる、精穀・製粉機を動かす水車のこと。「集落の文化の見直し」という目的を見失わないよう、体験施設の入口には村の憲章を掲げています。





傾聴ボランティアもりおか

(盛岡市)

陸前高田市の仮設住宅で、一人暮らしの男性の話に耳を傾ける副会長の木村由子さん。

「三陸サポートーズ」 わくわく

被災地でがんばる、
被災地のためにがんばる

お話をありのままに
受け止めることで
前向きな生活を支援する

「傾聴」とは、悩みや寂しさなどを抱える人の話を耳を傾け、そのままに受け止めること。こうすることで安らかな時間を過ごしてもらい、明るく前向きな生活をおくつてもらえるよう支援しているのが、「傾聴ボランティアもりおか」です。

岩手県内の高齢者を対象にしてる同団体は、平成20年、NPO法人ホールファミリーケア協会（東京都）の講座受講メンバー27人で発足。当初は盛岡市やその近郊市町村の高齢者施設を訪ねて傾聴していましたが、東日本大震災後は岩手県災害対策本部や自衛隊からの要請を機に、沿岸被災地の避難所や仮設住宅、個人宅などの傾聴も続けています。

活動は月に5回、参加できる会員と一緒にマイクロバスに乗って被災地に行き、現場で分かれてそれぞれ1軒ずつ1時間傾聴します。傾聴は午前午後1回ずつを行い、帰りのバスの中で報告し合い、傾聴方法の良否についても確認し合います。

「傾聴したお話の中には、辛く悲しい内容も少なくありません。それを持ち帰つて自分で抱えてしまふと次の活動はできませんから、報告し合つのです。これを私たちは、『いただいたお話を浄化する』と考えています。もちろん守秘義務は厳守しています」と会長の藤原一高さんは説明します。

最近は活動場所が災害公営住宅にまで広がり、現在の形態では活動が難しくなった一方、今後の継続の重要性も実感。そこで、被災地で傾聴団体の養成を行い、活動の引き継ぎにも力を入れています。



4年以上通い続け、すっかり顔なじみになった住民に傾聴する、被災地担当役員の近谷進さん。



傾聴活動には毎回7～8人の会員が参加。バスから降りると、まずは気に掛かる人の住宅に真っ先に向かいます。



盛岡から沿岸市町村までは専用のマイクロバスで移動します。帰りの車中は、活動報告の場に。

これが、元気な岩手をつくる活動だ！

昨年10月1日、盛岡市と宮古市との2カ所に、「いきいき岩手」結婚サポートセンター『i-サポ』がオープンしました。これは岩手県と県内の全市町村、関係団体が協力して開設したものです。いきいき岩手支援財団が運営しています。今回はその利用方法や利用状況などを紹介します。

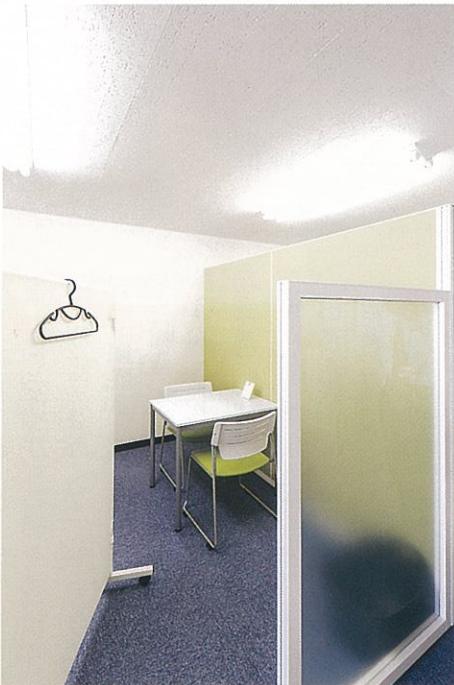
県・市町村・団体が連携し全県を網羅したシステムに

国の人口推計によると、2040年度の岩手県の人口は2010年の人口に対して30%近くも減少すると考えられています。特に15～65歳までの生産年齢人口は、2010年が79万6千人に対して2040年には47万6千人まで減少。少子化も更に進む見通しどうっています。

「もはや少子化は個人の問題とはいえば、行政が結婚支援に乗り出す時代。秋田県や山形県などでもすでに行われています。そこで岩手でも全県を網羅した取り組みを行うことになったのです」と説明するのは、『いきいき岩手』結婚サポートセンター『i-サポ』の小守武義センター長です。



←センター入口に設置されたロッカー。利用者はここに携帯電話等を預け、自分で鍵を閉めて管理します。



↑i-サポ盛岡には、写真のようなブースが5つ設けられています。使用時には左手の扉を閉め、プライベート空間をつくります。

←i-サポ盛岡のお見合い用ブース。男性には30分早く来てもらい、スタッフが会話の進め方等のアドバイスをします。

「オール岩手」で独身者を応援する 『いきいき岩手』結婚サポートセンター『i-サポ』



入会申込書のグレー地の部分は、
「本名・住所・電話番号・メールア
ドレス・勤務先」の非開示部分。

専用回線を使用して 個人情報を保護

『いきいき岩手』結婚サポートセンター『i-サポ』は、会員登録制により一对一の出会いの場を提供するものです。対象者は20歳以上の独身男女で、県内に居住している、あるいは、将来居住できる人。登録料は2年間で1万円で、登録は、盛岡市または宮古市のセンターに電話で予約してから出向いて行います。自分のプロフィールや相手に望む点などを入会申込書に記入して登録後、お

独身者の結婚を支援する婚活イベントは、県内各地で市町村単位で開

●さあ、誘ってみよう!●

登録や相手のプロフィール検索がセンターでしかできない仕組みになつてしているのは、専用回線を使って個人情報を保護しているため。また、交際や結婚への確率を高めるため、完全に条件の合致した相手が見つかった場合のみマッチングし、お見合いにつなげるようになっています。「条件によつてはお相手が見つからず、登録後まったく連絡がなく検索もできない、と不満に思う方もいるでしょう。そこで、センターにてスタッフの説明を聞いてこの仕組みを理解していただいたうえで、登録していただくようにしています」。

互いの希望が完全に合致した相手がマッチングされるもので、センター内のタブレット端末を使って相手のプロフィールを検索。会いたい場合にはお見合いを申し込み、相手が了承したらセンターにてスタッフ立ち会いのもとお見合いする、という流れです。



「信頼性の高さや安心感がi-サポのもっと大きな特徴です」と話す小守武義センター長。

久慈市・釜石市への出張サービスも開始

i-サポ盛岡

住所／盛岡市菜園1-3-6 農林会館6階
電話／019-601-9955
開所時間／平日10時～19時、土日9時～18時
休日／祝日、お盆、年末年始



i-サポ宮古

住所／宮古市宮町1-3-5 陸中ビル3階
電話／0193-65-7222
開所時間／平日10時～19時、土日9時～18時
休日／火曜日、祝日、お盆、年末年始



「i-サポ」の大きな特徴であるその「信頼性の高さ」は、前述のとおり、登録や検索がセンターでのみ行われ、個人情報が保護されている点によるものですが、それ以外にも様々な点が配慮されています。例え

ば、検索時は「本名・住所・電話番号・メールアドレス・勤務先」を非表示にし、お見合いは「ツクネーム」で行っています。また、登録時以外でも来所の際には必ず電話予約をしてもらい、他の会員や来所者と顔を合わせることがないようにスタッフが調整。さらに、センター内は複数のブースに分かれており、同時に登録や検索、お見合いなどが行われて



これまで50組以上がお見合いし、30組以上が交際をスタート。今後は、そこから結婚につなげると同時に、会員数をもつと増やすことが目標です。1月からは久慈市と釜石市で出張サービス「おでかけi-サポ」も始めており、小守センター長は「広く県民に利用してもらいたい」と期待をふくらませています。



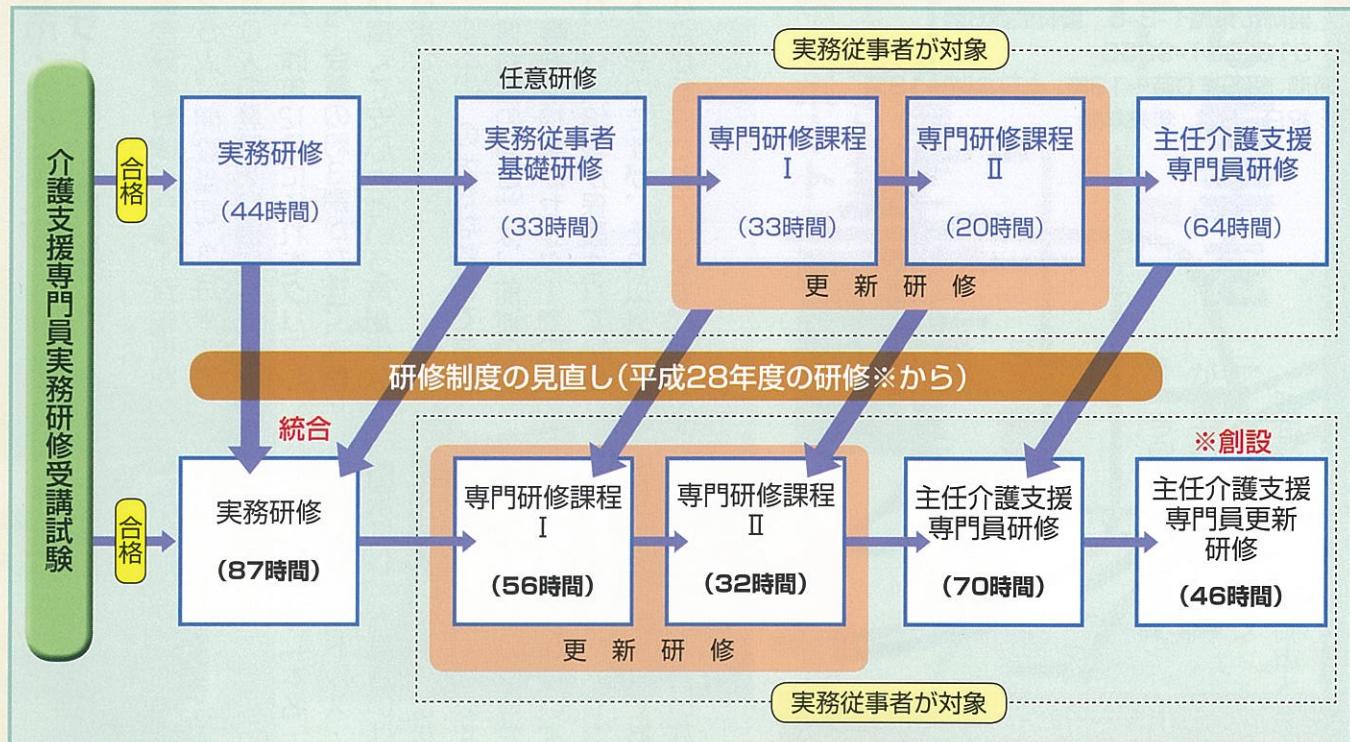
今日から「いきいき生活」に役立つ 知って得する！財団情報

(公財)いきいき岩手支援財団の情報は下記ホームページをごらんください。
<http://www.silverz.or.jp/>

平成28年度介護支援専門員(ケアマネジャー)の研修制度が変わります！

介護支援専門員の研修制度の見直しがなされ、平成28年度から新たな研修体系となります。主な変更内容は、①実務研修を充実させるため、実務従事者基礎研修を統合し87時間となる。②主任介護支援専門員に更新制を導入し、更新研修が創設される。③専門職として修得すべき知識、技術を確認するため各研修修了時に修了評価を実施する。④各研修とも時間数が増加・研修内容が変わる等です。

岩手県の研修日程については、平成28年4月1日以降、当財団ホームページでお知らせします。



※岩手県では平成28年度に限り、旧カリキュラムによる実務従事者基礎研修と、実務未経験者に対する更新研修・再研修も旧カリキュラムで開催する予定です。

※上図は厚生労働省ホームページの図を元に作図しました。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku-05-Shingikai-12301000-Roukenkyoku-Soumuka/0000052697.pdf>

【お問合せ先】 〒020-0015 盛岡市本町通3-19-1 岩手県福祉総合相談センター 3階
公益財団法人いきいき岩手支援財団 評価公表・研修グループ
TEL:019-629-2300 FAX:019-625-7494
財団ホームページアドレス：<http://www.silverz.or.jp/>

いきいき岩手支援財団ホームページのアドレスが変わりました

財団のホームページが12月下旬に引っ越ししました。当面は今までのアドレスやリンクから閲覧が可能ですが、お早めに新しいアドレスをご登録くださいますよう、お願いいたします。

*従前のアドレス：<http://www.iwate-silverz.jp>

*新しいアドレス：**<http://www.silverz.or.jp/>**



読者アンケート ご応募くださった方の中から 抽選でプレゼント！

皆さんの声を、「いきいきイーハトーブ」にお寄せください。アンケートにお答えの皆さんの中から抽選で下記商品をプレゼントします。下記の(1)～(4)に対する回答と、住所・氏名・年齢・職業・電話番号をお書き添えの上、はがきでご応募ください。

<プレゼント> 小岩井農場 3名様 「大人のクッキー」



※写真はイメージです。

- 設問(1) 「いきいきイーハトーブ」をどこで読みましたか？
(番号でお答えください)
- ①職場 ②福祉施設
③銀行 ④行政関連施設
⑤その他 ()
- 設問(2) 今回の企画で興味をもったものは何ですか？
(番号でお答えください)
- ①「岩手の『いきいき元気人』」
②「われら『三陸サポーターズ』」
③「これが、元気な岩手をつくる活動だ！」
④「知って得する！財団情報」
⑤「元気暮らしのためのQ&A」
- 設問(3) あなたが今「気になる」ものは何ですか？
(番号でお答えください)
- ①防災のこと ②医療のこと
③お金のこと
④その他 ()
- 設問(4) 本誌へのご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。
また、こんな元気なシルバー世代がいるよ、といった情報がありましたらお寄せください。

- 応募締切 平成28年3月末日
- 当選発表 商品の発送(平成28年4月下旬頃)をもって代えさせていただきます。
- 送り先 〒020-0015 盛岡市本町通3-19-1
(公財)いきいき岩手支援財団
「いきいきイーハトーブ12号
読者アンケート」係

60歳以上の方の作品募集中！

岩手県民長寿文化祭 第28回作品展 作品募集中です！

当財団では、今年も盛岡市民文化ホール(マリオス)4階展示ホールで、岩手県民長寿文化祭第28回作品展を開催するにあたり、出品作品を募集しています。

応募資格は、県内に居住する60歳(昭和32年4月1日以前に生まれた方)以上のアマチュアならどなたでも申込できます。1人につき1部門1点(未発表のもの)出品できます。また、部門毎に上位2作品は「ねんりんピック長崎2016美術展」(以下「長崎大会」)へ岩手県代表として出品されます。

なお、団体での共同制作や規格外の作品でも出品できますが、長崎大会への選考については対象外になります。



第27回展会場風景

【募集部門】 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真 の6部門

【応募方法】 所定の申込書に必要事項をご記入のうえ、当財団へFAXか郵送でお送りください。
申込書は当財団のホームページからダウンロードするか、下記お問合せ先へご連絡ください。

【募集の締切】 平成28年5月6日(金)必着

【出品料】 無料。但し、出品、返却に送料がかかる場合は自己負担願います。

【開催日・場所】 平成28年6月3日(金)から6月5日(日)正午まで
盛岡市民文化ホール(マリオス)4階展示ホール

【お問合せ先】 公益財団法人いきいき岩手支援財団
総務・健康支援グループ

TEL:019-626-0196 FAX:019-625-7494

※当財団のホームページでもご案内しております

あなたの日々の悩みにプロが答えます

元気暮らしのためのQ&A

「オレオレ詐欺」だけでなく、「還付金等詐欺」のような巧妙な手口の特殊詐欺が増えていると聞きました。被害に遭わないためにはどのようなことに気をつけたら良いでしょうか。

◆回答者

岩手県警察本部 生活安全部
生活安全企画課 課長補佐

高橋 淳さん

A1

「電話でお金を要求する=詐欺」と考える



電話でATMの操作を指示する「還付金等詐欺」。指示された操作が「振込」につながっているので、被害件数が増えています。

「オレオレ詐欺」をはじめ特殊詐欺の被害や手口について、報道などで知っている人は多いでしょう。でも実際に電話がかかってくると、「まさか自分に詐欺の電話がかからてくるわけがない」と思い込み、内容を鵜呑みにしたり、「マイナンバーの登録」など制度や内容がよくわからぬ言葉を聞いて混乱し、冷静な判断ができなくなるようです。そもそも、電話でお金を要求するということは尋常なことではありません。「電話でお金を要求する=

A2 ふだんから家族間で話題に取り上げる

定期的に家族と電話で連絡

ATMでの返金=詐欺」と考えましょう。わからぬことがあつたらいつたん電話を切り、警察に相談してください。

合い言葉
は…



最近はナンバー・ディスペレイの電話に加え、通話自動録音機能など迷惑電話対策機能がついた電話も販売されているので、そうした電話を使用することも対策の一つです。

第10回エコツーリズム大賞「大賞」受賞! / 第8回産業観光まちづくり大賞「観光庁長官賞」受賞!

ガイド付きツアー「小岩井農場物語」

人のちから、自然のちから。
小岩井農場
KOIWAI FARM SINCE 1891

ガイド同行・小岩井農場の歴史と現在をめぐる。

小岩井農場めぐり



非公開の生産現場プラス、登録有形文化財を巡るバスツアー。
よりご参加しやすいうに新しいコースになりました。所要時間約45分の【歴史編】と【現代編】約70分の【総合編】が運行されます。

ガイド同行・どなたでも参加できる、自然散策。

トラクターバスで行く自然満喫ツアー



小岩井農場で大活躍のトラクターがけん引するバスに乗り、非公開の森林エリアを巡ります。所要時間約40分の【ショートコース】と約60分の【ロングコース】をご用意しています。